

MIT理事会 議事録

日時：2021. 10/2 (土) 10 11時半 WEB会議

出席者(予定)：関 啓子 (三鷹高次脳機能障害研究所)

重岡大介 元エイベックス)

辰巳 寛 (愛知学院大学)

佐藤正之 (都立産技大)

張本浩平 (gene)

鈴木峰貴 (エスコアール)

以上、敬称略

1. 一般社団法人化の件

- ・ 法人化メリット
 - 出入金の管理(税金処理、決算) 銀行口座開設
 - 実地講習会参加費などの振込先の確保
 - 会員との連絡系統の明瞭化
- ・ 法人化デメリット
 - 登録料 11万数千円
 - 膨大な事務作業量の発生
 - ◇ →手続き代行会社の利用：代行料16万~20数万円必要
 - 総額30万円前後の準備金が必要

→現時点では、強いて法人化する必要はなく、事業が拡大した時点ですれば良いのではないかと、ただし、資格事業が課税対象になるとの法律の記載があり、詳細は税理士などの専門家への確認が必要。

→これに対し、経営者の方々から、関会長が心配なく代表をお引き受けになるためにも、法人化はした方が良く、との意見をいただいた。

→仮に、外部講師にいわゆる謝金を払う場合、源泉徴収などの処理の際にも法人化しておいた方が良く、とのこと。

● 一般社団法人化することに決定。

→申請業務は外部委託する。協会のお金が出る時期に合わせて複数の業者から見積もりを取る。事務局の佐藤がこれらを行う。

2. ホームページの整備

- ・ 過去の議事録、理事の本テーマに関する業績、オンラインセミナー詳細など。

→過去の議事録は、当教会が発足した今年度からのものを掲載する。

ホームページの充実を図る。講習動画の準備・公開情報なども含めて。

3 MITファシリテーター養成セミナー

- ・ オンライン講習の公開前に開催予定。
- ・ 第1回は東京の産技大で開催。
- ・ 講師：関、佐藤、石原、志賀、辰巳
- ・ セミナー受講者は10名程度(予定)。
 - 関先生のお知り合い4名、西村先生含め3名(大阪)、三重から松田先生
- ・ セミナー受講者への手当は産技大の佐藤の講座から支出(微々たる額ですが・・・)

→上記について、辰巳先生からご説明頂いた。

4. “メロディック・イントネーション・セラピー”の良い和訳

- ・ 一般人が検索するときのきっかけとなる言葉(キーワード)があると良い。
- ・ 学術的には、MITはあくまでMITであるが、一般人の検索のための便宜を図る目的で、意識でも良いので検索に引っかかりやすい(=一般人がMITのホームページに到達しやすい)通称を考える。
 - 「音楽発話促進療法」「音楽発話促進療法」「ミュージック発話促進療法」「ミュージック言語療法」「音楽言語療法」など。

→評議員の方々も含め、しばらく案を募る。

5 MITトレーナー/アンバサダーの認定証の発行方法

- ・ 認定証(ある程度以上の高品質が望ましい)とカード化の2種類を発行(資料)
- ・ 費用：認定証30部 7,400円、カード加工代 30部 17,100円、設定費 6,000円、送料 1,200

円=31,700円。

- ・ 写真データトリミング代 1枚につき 120円→30部だと36,000円だが、これは予め「 $cm \times \Delta cm$ の顔写真を提出すること」と言っておけば大丈夫だと思う。
→認定証発行の時期が近づいたら、見積もりを取る。

6 MIT治療キット構成案

- ・ MIT-J治療キットの構成とマニュアル本文の内容 担当割案
→辰巳先生からご説明いただいた。
- 張本先生より、録画した講習を、以前はステップが揃ってから全体を公開するというになっていたが、出来たものから順に公開していきたい、との意見。受講履歴は保存されるとのこと。
→公開された動画が講習全体のどの位置のものなのかを示すために、いわゆるステップゼロとして講習全体を説明するビデオを作成し、YouTube上でも公開する。
また、協会のホームページ上にも講習の全体像を示す図・表を掲載する。
- 法人化や事務態勢が整うまでは、複雑な処理が必要となる事柄は避けるようにする。
- 当協会のロゴやキャラクターを作成する。

以上（文責：佐藤）